

～宮古西中学校の生徒が下刈りの作業体験をしました～

宮古市立宮古西中学校では、農業、林業、水産業の職場を体験することにより、地域への理解と広い職業観を育てることを目的に産業体験学習を行っています。今回、林業体験班は学校近くの山林において下刈り体験をしました。

【体験内容】

1年生男子18名、女子7名が参加しました。作業に入る前に下刈りの目的、なぜ今の時期なのかについて説明しました。この日は宮古地方も気温が上昇してとても厳しい作業となりました。

【生徒からの感想や質問】

急な斜面を担当した生徒は、「そこに立っているだけで大変だった」、「こんなに汗をかいたのははじめて」などの声が聞かれた一方で、中にはどんどん刈り進んで、「山(尾根)の向こう側に道があったよ」と得意げに教えてくれる生徒もいました。

宮古市は県内でも森林率が高く、木材生産量が最も多いという説明に少し驚いていた様子でした。

生徒からの質問は、「仕事をしていてつらいこと、楽しいことは?」「木1本の値段は?」など難しい質問もありましたが、運搬費用を差引くと安い値段にしかないという厳しい状況を正直に伝えました。

最後に参加賞として鳥の鳴き声の音が出せる「バードコール」を一人一人に配布して、山に親しんでくれることと、林業の職業について考えてくれることを願って現地を離れました。

